

ノンオイルフライヤー

取扱説明書

GH-KFRA シリーズ



目次

<input type="checkbox"/> 安全上のご注意(安全に正しくご使用いただくために)	2
<input type="checkbox"/> ご使用上のお願い(未永くご使用いただくために)	11
<input type="checkbox"/> 内容物	13
<input type="checkbox"/> 各部名称	14
<input type="checkbox"/> 準備する	16
<input type="checkbox"/> 調理する	18
<input type="checkbox"/> お手入れのしかた	21
<input type="checkbox"/> トラブルシューティング	22
<input type="checkbox"/> 仕様	23
<input type="checkbox"/> 故障について	24


安全上のご注意


安全に正しくご使用いただくために


製品を安全に正しくお使いいただき、人の被害やものの損害を未然に防ぐための重要な内容を記載しています。

次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、注意事項をお守りください。

■表示の説明

 **危険** この表示の注意事項を守らないと、特に、死亡したり、重症を負うおそれがあります。

 **警告** この表示の注意事項を守らないと、死亡したり、重症を負うおそれがあります。

 **注意** この表示の注意事項を守らないと、ケガをしたり、ものに損害を与えるおそれがあります。
なお、この表示の注意事項や、ここに示していない本文中の注意事項でも、状況によっては、死亡したり、重症を負うおそれがあります。
必ず、ここに示す安全上のご注意をお守りください。

■絵表示の例

行為を禁止する絵表示



禁止

この絵表示は、行為を禁止する内容を示しています。
(左図の場合、「禁止」を示しています。)

注意をうながす絵表示



注意

この絵表示は、注意をうながす内容を示しています。
(左図の場合、「注意」を示しています。)

行為を指示する絵表示



コンセントから
プラグを抜く

この絵表示は、行為を指示する内容を示しています。
(左図の場合、「コンセントからプラグを抜く」を示しています。)

危険 異常が発生した場合



コンセントから
プラグを抜く

煙が出たら、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用すると火災や感電の危険があります。煙が出なくなったことを確認の上、ご購入店、またはグリーンハウス ノンオイルフライヤー サポートセンターへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

発熱したら、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用すると火災や感電の危険があります。発熱がなくなったことを確認の上、ご購入店、またはグリーンハウス ノンオイルフライヤー サポートセンターへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

異音が出たら、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用すると火災や感電の危険があります。異音が出なくなったことを確認の上、ご購入店、または、グリーンハウス ノンオイルフライヤー サポートセンターへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

異音が出たら、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用すると火災や感電の危険があります。異音が出なくなったことを確認の上、ご購入店、またはグリーンハウス ノンオイルフライヤー サポートセンターへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

使用中、落下や衝撃により破損したら、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用すると火災や感電の危険があります。ご購入店、またはグリーンハウス ノンオイルフライヤー サポートセンターへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

水や異物が内部に入ったら、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用すると火災や感電の危険があります。ご購入店、またはグリーンハウス ノンオイルフライヤー サポートセンターへご連絡ください。

※地震や津波、地すべりなどの災害が発生するおそれがある場合、まずは、身の安全を確保してください。



警告

使用について



水濡れ
禁止

電源コードのプラグは、水のかかる場所で使用しないでください。
火災やショート、感電の危険があります。



禁止

使用前に、製品に破損がないか確認してください。
破損したまま使用すると火災や感電、ケガの危険があります。
ご購入店、またはグリーンハウス ノンオイルフライヤー サポートセンターへご連絡ください。



禁止

落下や衝撃により破損したら、使用しないでください。
そのまま使用すると火災や感電、ケガの危険があります。
ご購入店、またはグリーンハウス ノンオイルフライヤー サポートセンターへご連絡ください。



禁止

調理時以外では、タイマーダイヤルを回さないでください。
やけどやケガの危険があります。

警告 電源について



AC100V以外
使用禁止

電源コードのプラグは、100 ボルト交流電源 (AC100V) コンセントにしっかり差し込んで使用してください。

日本国外の商用電源や船舶などの直流電源でご使用になると故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



AC100V以外
使用禁止

コンセントや延長ケーブル、OA タップなどを使用しないでください。

タコ足配線などによって定格を超えると、発熱により火災や感電の危険があります。



コンセントから
プラグを抜く

使用時以外は、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



定期的に
プラグを掃除

電源コードのプラグは、定期的に掃除を行ってください。

電源コードのプラグやコンセントにゴミやホコリがたまるとショートの原因となり、火災の危険があります。定期的に電源コードのプラグをコンセントから抜き、ゴミやホコリを取り除いてください。



コンセントから
プラグを抜く

電源コードのプラグのお手入れは、コンセントから取り外して行ってください。

電源コードのプラグをコンセントに差し込んだままお手入れを行うと、感電の危険があります。



定期的に
プラグを掃除

定格 15A 以上の 100 ボルト交流電源 (AC100V) コンセントを単独でご使用ください。

タコ足配線などで他の器具と併用すると、発熱により火災の原因になります。延長コードは使用しないでください



コード傷つけ
禁止

電源コードは、傷つけないでください。

ものをのせたり、引っばったり、ねじったりなど、無理に取り扱くとコードが傷つき、火災やショート、感電の危険があります。



落雷時は
触れない

落雷のおそれがある場合、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

火災や感電の危険があります。



警告

電源について



濡れた手で
触れない

濡れた手で電源コードのプラグに触れないでください。
感電の危険があります。



破損コンセント
使用禁止

破損したコンセントを使用しないでください。
コンセントに電源コードのプラグをしっかり差し込んで、ゆるみがあると、火災やショート、
感電の危険があります。破損したコンセントではない、別のコンセントで使用してください。



コードひっぱり
禁止

電源コードのプラグをコンセントに抜き差しする場合、プラグを持ってください。
電源コードを引っばると、プラグやコード、コンセントが傷つき故障の原因となり、火災や
ショート、感電の危険があります。



警告 使用について



分解や改造
禁止

分解や改造をしないでください。
火災や感電、ケガの危険があります。



禁止

ふんだり、のったり、投げたり、落としたりしないでください。
衝撃による破損の原因となり、火災や感電の危険があります。また、持ち運ぶ際は、無理に取り扱わないでください。



禁止

子供だけで使用させたり、乳幼児の手の届くところで使用しないでください。
感電やケガ、やけどの危険があります。



禁止

本体内部に水や油、異物を入れないでください。
火災や感電の危険があります。



禁止

業務用途としてや、30分を超えて連続して使用しないでください。
過負荷による故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



禁止

調理以外に使用しないでください。
火災や感電、ケガの危険があります。



禁止

本体内部のヒーターに手を近づけないでください。
感電やケガ、やけどの危険があります。特に使用中は本体内部が高温になりますから、手を入れたり、のぞき込んだりしないでください。



高温になった
食材や油に注意

取り出したバスケットから落ちる高温になった食材の残りや油に注意してください。
バスケット底部に開いている穴から高温になった食材の残りや油が落ち、やけどの危険があります。



禁止

バスケットに決められた分量 (P.15参照) 以上の食材を入れないでください。
故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



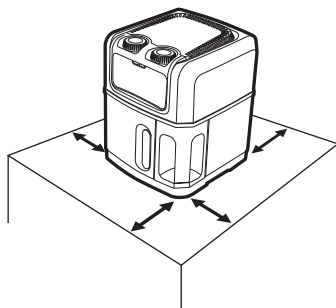
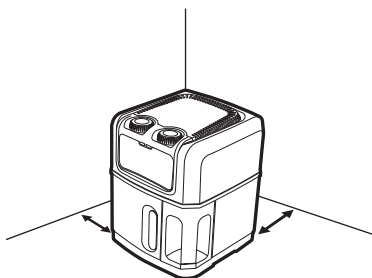
警告

設置について



周囲15cm
確保する

壁や家具から 15cm 以上、テーブルや台の端から 15cm 以上離して設置してください。



不安定な場所
に置かない

不安定な場所に置かないでください。

不安定な台や振動のある場所、強度の弱い場所に置くと、落下や転倒の危険があります。



禁止

温度の高いところに置かないでください。

熱器具の近くや直射日光の当たる場所、閉めきった自動車の中など湿度の高いところに置くと、高温による故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



禁止

湿度の高いところに置かないでください。

故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



水濡れ
禁止

水のかかる場所に置かないでください。

雨や雪の吹き込む窓際、屋外、浴室でのご使用は、水濡れによる故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



禁止

異物が浮遊するところに置かないでください。

ホコリや砂、油煙といった異物が内部に入ることによる故障の原因となり、火災やショート、感電の危険があります。ホコリなどは、定期的に取り除いてください。



警告 設置について



禁止

吸気口や排気口をふさがないようにください。
吸気口や排気口をふさぐと、内部に熱がこもることによる故障の原因となり、火災の危険があります。また、吸気口のコリなどは、定期的に取り除いてください。



禁止

じゅうたんや畳、テーブルクロスなどの可燃性の高いものや、ガラスやプラスチックなどの耐熱性の低いものの上に置いて使用しないでください。
火災の原因になります。



注意 使用について



禁止

使用中は本体を移動しないでください。
ケガややけどの原因になります。



禁止

使用中や使用後は本体やバスケット、使用中のケーキ型やピザ皿、食材が高温になりますから、直接触れないでください。



禁止

高温のバスケットを熱に弱い物の上に置かないでください。
熱により、変形や変質、こげの原因となります。



禁止

使用後のお手入れや持ち運びは、本体やバスケット、使用中のケーキ型やピザ皿の粗熱がとれてから行ってください。



禁止

扉を開けるときは、必ず扉開閉ハンドルを握って開いてください。
扉開閉ハンドル以外に触れると、やけどの危険があります。

注意 使用について



禁止

バスケットを取り出すときは、必ずバスケットハンドルを握って取り出してください。
バスケットハンドル以外に触れると、やけどの危険があります。



禁止

使用中は本体をふきんやタオルで覆った状態にしないでください。
故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



禁止

使用後は必ずお手入れしてください。
食材の残りや油、調理汚れが残っていると、雑菌が繁殖する原因になり、火災の危険があります。



禁止

食材と調理するときに使用できるもの (P.23 参照) 以外のものは、バスケットに入れしないでください。
故障の原因となり、火災や感電の危険があります。

使用上のお願い

末永くお使いいただくために

製品の取り扱いについて

- 本書「安全上のご注意」をよくお読みください。
- 電源コードのプラグをコンセントに差し込んだまま、移動しないでください。
- 使用中、本体が熱くなりますので、取り扱いには十分にお気をつけください。
- 使用中は放置せず、タイマーを短めに合わせ、食材の仕上がりが度合いを見ながら調理を行ってください。
- バスケットや付属品に抗菌作用や除菌作用はありませんので、調理した食材は食器などへ移し変えてください。

調理する食材について

- 食材は、適切な大きさ、適切な分量に調整してから調理を行ってください。
- 食材を追加する際は、タイマーダイヤルを0(ゼロ)に戻してから行ってください。
- 高温の食材の取り扱いには、十分にお気をつけください。

製品のお手入れについて

- ノンオイルフライヤーは食材に直接触れる調理器具となりますので、使用後は必ずお手入れをし、常に清潔な状態を保ってください。
- お手入れは、必ず電源コードのプラグをコンセントから抜き、本体やバスケットの粗熱が取れてから行ってください。
- 煮沸したり、食器洗浄機や食器乾燥機で洗うことはできません。
- 本体を水洗いすることは、絶対にしないでください。
- 本体の汚れは、やわらかい布で軽くふき取ってください。
- 本体のひどい汚れは、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってからふき取ってください。
- 本体の内部の汚れは、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってからふき取ってください。
- バスケットやトレイ、トング、ピザ皿、ケーキ型の汚れは、本体から取り外した状態で、台所用中性洗剤を使用してスポンジやブラシなどで洗ってください。
- バスケット、ピザ皿、ケーキ型にはフッ素樹脂加工が施されていますから、金属製タワシやクレンザーなど研磨性の高いものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんや強い洗剤、ベンジンやシンナーなどの溶剤は使用しないでください。
- 殺虫剤や揮発性のものは使用しないでください。
- ノンオイルフライヤーにゴムやビニールなどを長時間接触させないでください。
- ニオイの強い食材を使用すると、ノンオイルフライヤーにニオイが残る場合があります。
- 食材によって、バスケットや付属品に色移りする場合があります。
- 長期間使用しない場合は、バスケットやトレイ、付属品をきれいに洗って十分に乾かし、高温多湿を避けて保存してください。
- フィルターは汚れが目立ってきたら取り替えてください。
フィルターの交換品は、グリーンハウスストア(<https://www.greenhouse-store.jp/>)からご購入できます。

結露（つゆつき）について

- 温度差の激しいところに設置すると、結露が起こる場合があります。
- 結露が起こると、正常に動作せず、故障の原因となるおそれがあります。
- 結露が起こった場合、結露が乾いてから使用してください。
- 寒冷地区での使用は、特に結露に注意してください。

廃棄について

- 廃棄する場合は、自治体の指示に従ってください。

免責事項

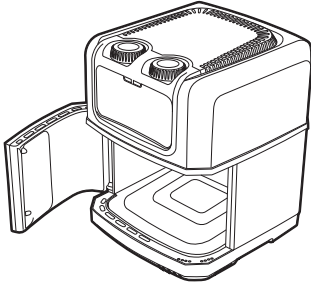
- 取扱説明書やパッケージの記載に従った使用でない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 落下、衝撃、圧力、負荷といった外的要因による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 火災、地震、落雷、風水害といった自然災害による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 製品の消耗、劣化による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 製品の使用をともなって事業利益を逸失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 製品の使用をともなって関連装置が故障した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

※本製品は保証期間に限り、初期的な使用不能や、取扱説明書、パッケージなどの記載に従った使用で故障した場合に無償対応いたします。

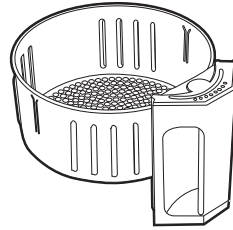
内容物

パッケージの中に以下のものがすべてそろっていることをご確認ください。

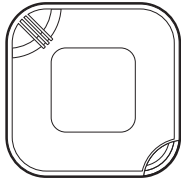
<本体>



<バスケット>

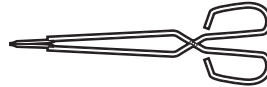


<トレイ>



※本体内部に置き、食材から出る油などを受け取るために使います。

<トング>



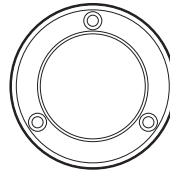
※食材をつかむために使います。

<ケーキ型>



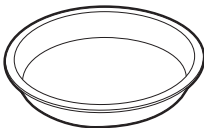
※ケーキなどを焼く際に使います。

<バスケット用受け皿>



※バスケットを置くために使います。

<ピザ皿>



※ピザなどを焼く際に使います。

<フィルター>



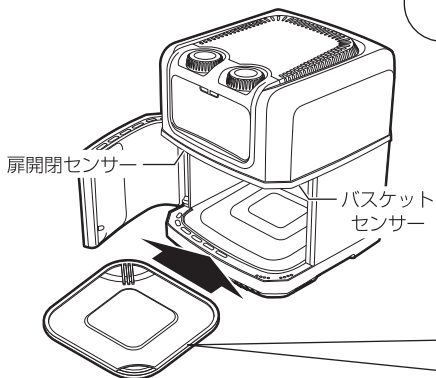
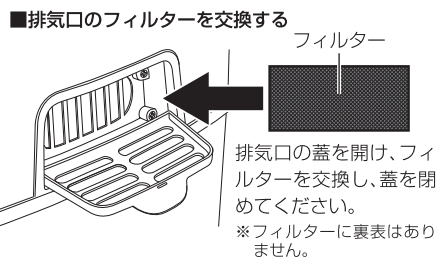
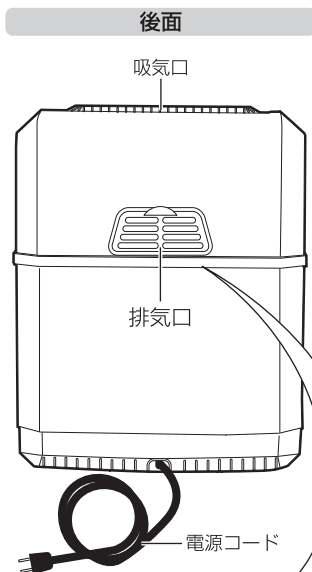
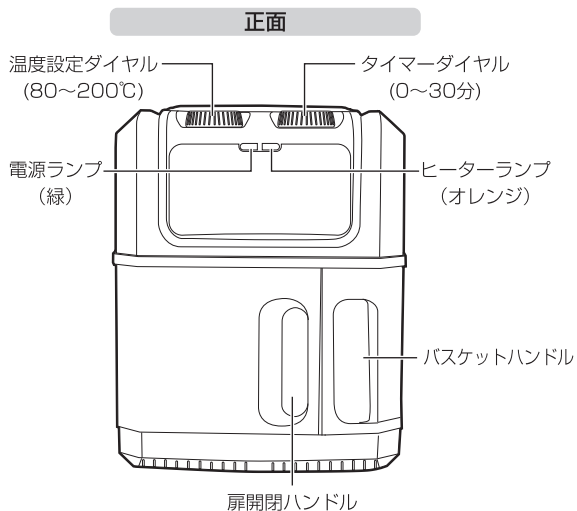
※排気口に取り付けられています。汚れが目立ってきたら取り替えてください。

<取扱説明書(本書)>

<1年間保証書>

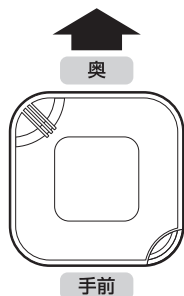
各部名称

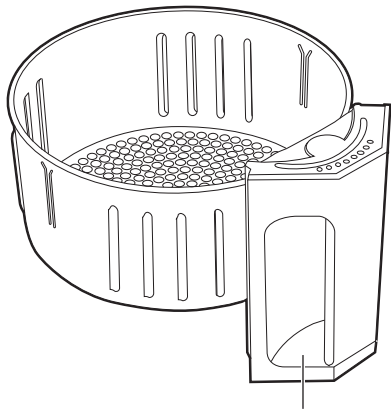
本体とバスケットの各部名称を紹介します。



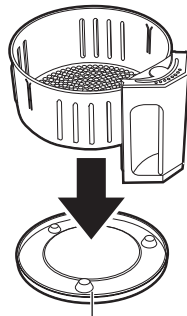
■トレイの入れ方

トレイは、図の向きに本体の奥まで入れてください。



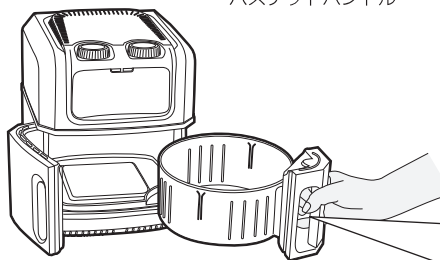


バスケットハンドル



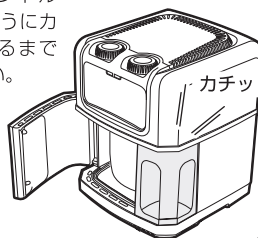
バスケット用受け皿

熱くなったバスケット
や食材の入ったバス
ケットは、付属のバス
ケット用受け皿の上
に置いてください。



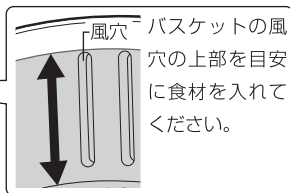
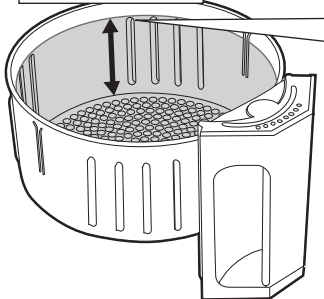
■バスケットの入れ方

バスケットハンドル
を持ち、図のようにカ
チッと音がするまで
入れてください。



バスケットに入れられる食材の分量

最大調理可能分量
2.25 リットル



※バスケットに入れられる分量以上の食材を入れると、調理が仕上がらなったり、仕上がりにムラがあったり、食材が発火し、火災の危険があります。

準備する

使用する前に

■保護材や緩衝材について

- 本体の塗装を保護するため、工場出荷時に本体を袋やシートなどの保護材で包んでいますが、使用前に必ずすべての保護材を取り除いてください。
保護材が残ったまま使用すると、故障の原因となり、火災の危険があります。
- バスケットの破損を防ぐため、工場出荷時にバスケット内部に緩衝材を入れていますが、使用前に必ず取り除いてください。
緩衝材が残ったまま使用すると、故障の原因となり、火災の危険があります。

■電源コードについて

- 工場出荷時に電源コードを束ねた状態にしていますが、使用前に必ず電源コードをほどいてください。
電源コードが束ねられたまま使用すると、火災の危険があります。

■ヒーターについて

- ヒーターにはサビ止めとして油が塗布されていますが、そのまま使用しても問題はありません。ノンオイルフライヤーを初めて使用するときは、この油が加熱されて煙が出たり、ニオイがすることがありますので、気になる方は、調理に使用する前に、バスケットに食材を入れずに、部屋を換気状態にした上で3～5分程度の空焼きを行ってください。
- 空焼きや調理に使用する前に、以下に注意してください。
 - 本体に保護材がついていませんか？
→必ずすべて取り除いてください。
 - バスケットに緩衝材などが入っていませんか？
→必ずすべて取り除いてください。
 - 吸気口や排気口がふさがっていませんか？
→ふさがっていないことを確認してから使用してください。
 - 周囲に燃えやすいものや、熱で変形、変質してしまうものはありませんか？
→室温や調理時間によって周囲が暑くなる場合がありますので、周囲にものを置かないでください。

次のページへ

■フィルターについて

- フィルターは汚れが目立ってきたら取り替えてください。
フィルターの交換品は、グリーンハウストア (<https://www.greenhouse-store.jp/>) からご購入できます。

■電源オン、オフについて

- コンセントに電源プラグが差し込まれた状態で、タイマーダイヤルを回すと、電源がオンになり、ヒーターとファンが動いて調理（加熱）が始まります。
- タイマーダイヤルが0(ゼロ)になるとベルが鳴り、電源がオフになります。
- タイマーダイヤルで設定した調理時間中にバスケットを取り出したり、扉を開けると、センサーが感知し、設定した調理時間が経過したまま、ヒーターとファンが運転を停止します。再びバスケットを入れたり、扉を閉めると、センサーが感知し、ヒーターとファンが運転を再開しますが、バスケットがしっかり入っていなかったり、扉がしっかり閉まっていなかったりすると、センサーが感知できず、運転を再開しません。

調理する

●エアフライヤーは、壁や家具から 15cm以上、テーブルや台の端から 15cm以上離れた安定したところに設置してください。

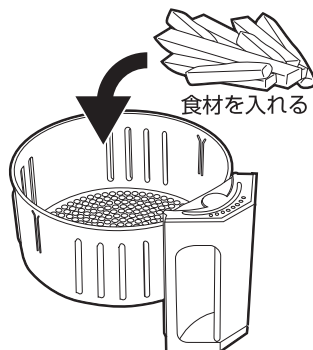
1. バスケットの中に食材を入れます。

※バスケットが汚れている場合は、汚れをふき取るなど清潔な状態にしてから使用してください。

※決められた分量(P.15参照)以上の食材を入れないでください。

※食材と調理するときを使用できるもの(P.23参照)以外のものは入れないでください。

※バスケットの中に油や調味料などの液体は入れないでください。



■ケーキ型やピザ皿の使い方

付属のケーキ型やピザ皿を使うときは、食材の入ったケーキ型やピザ皿をバスケットの中に入れてください。

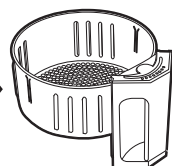
食材を入れる



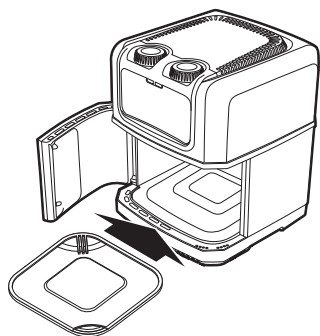
ケーキ型



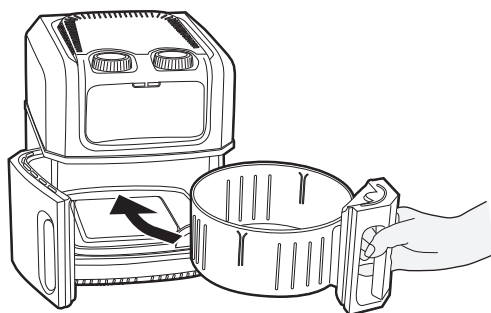
ピザ皿



2. 本体の内部にトレーを置き、バスケットを入れます。



トレーを置く



バスケットを入れる

※トレーは正しく置いてください(P.14参照)。

※バスケットは、カチッと音がするまで、しっかり本体内部に入れてください(P.15参照)。

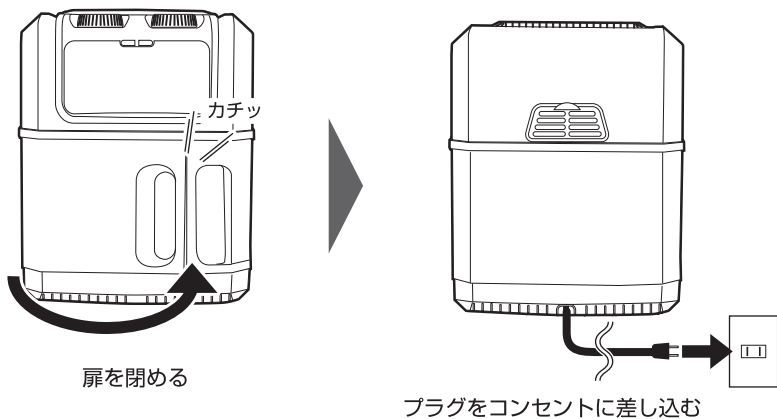
※バスケットがしっかり入っていないとセンサーが感知できず、運転しません。

※バスケットが汚れている場合は、汚れを拭き取るなど清潔なことを確認してご使用ください。

次のページへ

前のページから

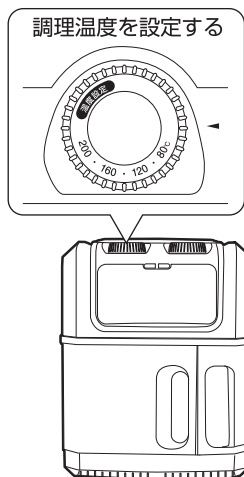
3. 扉を閉め、電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。



- ※扉は、カチッと音がするまで、しっかり閉めてください。
- ※扉がしっかり閉まっていないとセンサーが感知できず、運転しません。
- ※電源コードを束ねたまま使用しないでください。

4. 温度設定ダイヤルを回して、お好みの調理温度を設定します。

- ※室温や調理時間によって周囲が熱くなることがありますので、周囲にものを置かないでください。
- ※本体をふきんやタオルで覆った状態にしないでください。

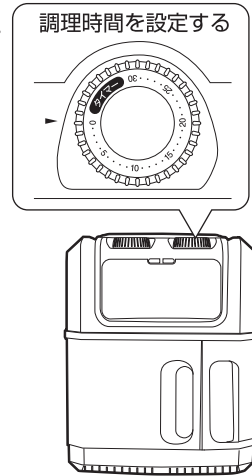


次のページへ

前のページから

5. タイマーダイヤルを回し、お好みの調理時間を設定します。

- ※電源ランプとヒーターランプが点灯し、調理が始まります。
- ※調理時間を5分より短い時間に設定する場合は、タイマーダイヤルを6分以上のところまで回してから、5分より短い時間に戻します。
- ※本体が冷えている場合は、調理に使用する前に、バスケットに食材を入れずに、3～5分程度の空焼きを行ってください。
- ※使用中は放置せず、タイマーを短めに合わせ、食材の仕上がりが度合いを見ながら調理を行ってください。
- ※食材の形状によっては均一に加熱されませんので、高温になっている本体やバスケット、調理中の食材に十分に気をつけて、バスケット内の食材の配置を見直してください。



6. ベルが鳴ったら、仕上がりを確認します。

- ※途中で調理を止めたいときは、タイマーダイヤルを0(ゼロ)まで戻してください。
- ※調理が足りないときは、高温になっている本体やバスケット、調理中の食材に十分に気をつけて、バスケット内の食材の配置を見直し、「4.」、「5.」の操作を繰り返してください。
- ※バスケット底部に開いている穴から高温になった食材の残りや油が落ちる場合がありますから、バスケットを取り出す際は十分に十分にお気をつけください。

7. できあがったら、食材を取り出します。

- ※扉開閉ハンドルを持って扉を開き、バスケットハンドルを持ってバスケットを取り出し、付属のバスケット用受け皿に置き、熱で変形や変質、こげるものには置かないでください。
- ※扉開閉ハンドルやバスケットハンドル以外は高温になっていますから触れないでください。やむを得ず触れる場合には、なべつかみなどの断熱性の高いものを使用してください。
- ※ケーキ型やピザ皿を使用した場合は、ケーキ型やピザ皿も高温になっていますから、バスケットから取り出すときは、なべつかみやトングを使用するか、粗熱が取れてから行ってください。
- ※バスケット底部に開いている穴から高温になった食材の残りや油が落ちる場合がありますから、バスケットを取り出す際は十分に十分にお気をつけください。
- ※バスケットから食材を取り出すときは、付属のトングや菜箸、ヘラを使用し、やけどに十分に気をつけてください。
- ※使用後のノンオイルフライヤーのお手入れや持ち運びは、粗熱が取れてから行ってください。

お手入れのしかた

- ノンオイルフライヤーは食材に直接触れる調理器具となりますので、使用後は必ずお手入れをし、常に清潔な状態を保ってください。
- お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体やバスケットの粗熱が取れてから行ってください。
- 煮沸したり、食器洗浄機や食器乾燥機で洗うことはできません。
- 本体を水洗いすることは、絶対にしないでください。
- 本体の汚れは、やわらかい布で軽くふき取ってください。
- 本体のひどい汚れは、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってからふき取ってください。
- 本体の内部の汚れは、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってからふき取ってください。
- バスケットや付属品の汚れは、本体から取り外した状態で、台所用中性洗剤を使用してスポンジやブラシなどで洗ってください。
- バスケットやケーキ型、ピザ皿にはフッ素樹脂加工が施されていますから、金属製タワシやクレンザーなど研磨性の高いものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんや強い洗剤、ベンジンやシンナーなどの溶剤は使用しないでください。
- 殺虫剤や揮発性のものは使用しないでください。
- ノンオイルフライヤーにゴムやビニールなどを長時間接触させたり、シールやテープを貼ったままにしないでください。
- ニオイの強い食材を使用すると、ノンオイルフライヤーにニオイが残る場合があります。
- 食材によって、バスケットや付属品に色移りする場合があります。
- 長期間使用しない場合は、バスケットや付属品をきれいに洗ってから十分に乾かし、高温多湿を避けて保存してください。
- フィルターは汚れが目立ってきたら取り替えてください。
フィルターの交換品は、グリーンハウストア(<https://www.greenhouse-store.jp/>)からご購入できます。

トラブルシューティング

症状	対処方法
運転しない	バスケットがしっかり入っているか、扉がしっかり閉まっているか、確認してください。
	タイマーダイヤルを回しているか、確認してください。
	調理時間を5分より短い時間に設定する場合は、6分以上になるようにタイマーダイヤルを回してから、5分より短い時間に戻してください。
	電源コードのプラグがしっかりコンセントに差し込まれているか、確認してください。
食材を入れたバスケットが本体に入らない	決められた分量(P.15参照)以上の食材を入れていないか、確認してください。
調理が仕上がらない	食材は、適切な大きさ、適切な分量に調整してから調理を行ってください。
仕上がりにムラがある	バスケット内の食材の配置を見直してください。
焦げたニオイがする 煙が出る	ノンオイルフライヤーを初めて使用するときは、ヒーターに塗布されたサビ止め用の油が加熱されて煙が出たり、ニオイがすることがありますので、気になる方は、調理に使用する前に、バスケットに食材を入れずに、部屋を換気状態にした上で、3～5分程度の空焼きを行ってください。
	油分の多い食材を調理すると、食材から落ちた油が熱せられ、煙が発生する場合があります。
	食材の残りや油、調理汚れが残っていると、それらが熱せられ、煙が発生する場合があります。
	薄切り野菜などといった軽い食材を調理すると、調理中に熱風で飛び、食材がヒーターに貼りついてしまう場合がありますので、タイマーダイヤルを0(ゼロ)まで戻し、電源コードのプラグをコンセントから抜き、本体の粗熱が取れてから、本体内部上にあるヒーターに食材が貼りついていないか確認してください。

※上記の確認を行って問題が解決しないときは、使用を中止し、電源コードのプラグをコンセントから抜き、ご購入店、または、グリーンハウス ノンオイルフライヤー サポートセンターへご連絡ください。

仕様

製品型番	GH-KFRA
電源	AC 100V (50Hz～60Hz)
消費電力	1400W
電気代目安	約2.6円(200℃、5分、1kWhを22円で計算した場合)
調整可能温度	80℃～200℃(サーモスタット付き)
調整可能時間	0～30分
材質	本体外装(PPポリプロピレン) バスケット:鉄(フッ素樹脂加工) トレイ:PPS(ポリフェニレンサルファイド樹脂) トンガ:鉄(クロームメッキ加工) ピザ皿:アルミ(フッ素樹脂加工) ケーキ型:鉄(フッ素樹脂加工) フィルター:ポリエステル、活性炭 バスケット用受け皿:PPS(ポリフェニレンサルファイド樹脂)
外形寸法	W260 × D290 × H330(mm)
バスケット容量	3リットル(最大調理可能分量2.25リットル)
重量	約4.7kg(本体のみ)
付属品	トレイ、トンガ、ピザ皿、ケーキ型、バスケット用受け皿 取扱説明書(本書)、1年間保証書

調理するときに使用できるもの

- 付属のケーキ型やピザ皿
- 200℃以上の耐熱表示のあるアルミホイルやオープン用クッキングシート、食器

※耐熱表示があるものでも、調理前にノンオイルフライヤーで空焼きし、異常がないことを確認し、異常が確認された場合には使用しないでください。

※食材の下に敷いて使用する場合には、下からの熱風が食材に当たらなかつたり、食材からの水分や油分が落ちなかつたり、調理に大きく影響することを十分に考慮してください。

調理するときに使用できないもの

- 布やキッチンペーパー、紙容器など、可燃性が高く、熱風で燃焼するおそれのあるもの。
- 食品用ラップフィルムやプラスチック容器、包装材など、熱風で変形や変質したり、燃焼するおそれのあるもの。
- 陶器やガラスなど、熱風で変形や変質したり、燃焼するおそれのあるもの。

■調理できないもの

- 加熱することで異常に膨張し、ノンオイルフライヤーを破損させるおそれのあるもの。
- 加熱することで硬くなり、ノンオイルフライヤーを破損させるおそれのあるもの。
- 加熱すると破裂し、ノンオイルフライヤーを破損させるおそれのあるもの。
- 加熱することで溶解し、ノンオイルフライヤーを破損させるおそれのあるもの。
- 水や油を満たした器の中へ食材を入れて加熱するなど、本書に記載されていない方法では絶対に調理しないでください。

故障について

ご購入店、または、グリーンハウス ノンオイルフライヤー サポートセンターへご連絡ください。

サポート窓口	グリーンハウス ノンオイルフライヤー サポートセンター
サポートセンターダイヤル	050-3543-0002
受付時間	9:00～12:00 / 13:00～17:00 (土日祝日休み)
FAX	0265-76-7774
住所	〒396-0015 長野県伊那市中央 5 149-1
メールアドレス	info@digital-l.com
ホームページ	http://www.green-house.co.jp

※本製品は保証期間に限り、初期的な使用不能や、取扱説明書、パッケージなどの記載に従った使用で故障した場合に無償対応いたします。

- ・本製品は、日本国内専用に製造および販売されています。
- ・本製品は、日本国外では使用できません。
- ・本製品を日本国外で使用することによるいかなる問題に対しても、責任を負いかねます。
- ・本製品は、日本国外での技術サポートおよびサービスは行っておりません。
- ・This product is manufactured and sold for Japanese domestic market only.
- ・This product can not be used outside Japan.
- ・We have no responsibility for any issues caused by the use of this product outside Japan.
- ・We also do not have any technical support and service for this product in other countries.

※本書の著作権は弊社に帰属し、内容の一部または全部を無断に転載することを禁じます。

※製品のデザイン、仕様は、改良などにより予告なしに変更する場合があります。

※本書の内容は、予告なしに変更することがあります。

※本書の記載の会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。

※本書について、お気づきの点がありましたら、ご購入店、または、グリーンハウス ノンオイルフライヤー サポートセンターへお問合せください。

GH-KFRA シリーズ

 **GREEN HOUSE™** 株式会社 グリーンハウス

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-19-15 ウノサワ東急ビル5階
グリーンハウス ノンオイルフライヤー サポートセンター TEL: 050-3543-0002
グリーンハウスホームページ: <http://www.green-house.co.jp/>